



障がい学生サポート



関西学院大学
教務部キャンパス自立支援課



目 次

●はじめに	2
●キャンパス自立支援課について	3
●運営連絡体制	4
●サポートの種類	5
●報酬料金表	6
●各種障がいサポート	8
・NT・PCテイクの支援の流れ	10
・字幕付け作業の流れ	12
・対面朗読の流れ	14
・点訳作業の流れ	16
●関西学院大学の取り組み	18
●年間スケジュール	



キャンパス自立支援課

上ヶ原キャンパス：TEL0798-54-7264

FAX0798-54-7044

E-mail:jiritsu-nuc@kwansei.ac.jp

三田キャンパス：TEL079-565-7903

FAX079-565-7929

E-mail:jiritsu-ksc@kwansei.ac.jp

はじめに

サポート学生・利用学生の皆さんへ

この『障がい学生サポート』案内パンフレットは、制度を利用する障がい学生が、実際にサポートを受けるにあたり、またサポートをする学生の皆さんが、サポート活動を行うにあたり、サポート制度の仕組みを理解することが、共に学ぶ学生同士より素晴らしいサポートにつながると考え作成しました。

困ったこと、わからないことが起きた場合は、まずこの『案内パンフレット』または各サポート別マニュアルに詳しく記載されていますので、確認してください。

その時々によって柔軟に、そして臨機応変な対応が求められるサポート活動は、常に新たな課題を感じながらの活動になることと思います。したがって利用学生とサポート学生は共に対話などのコミュニケーションを大切にすると同時に、困った時は必ず独りで悩まずに、気軽にキャンパス自立支援課スタッフまで、ご相談ください。

関西学院大学

教務部キャンパス自立支援課

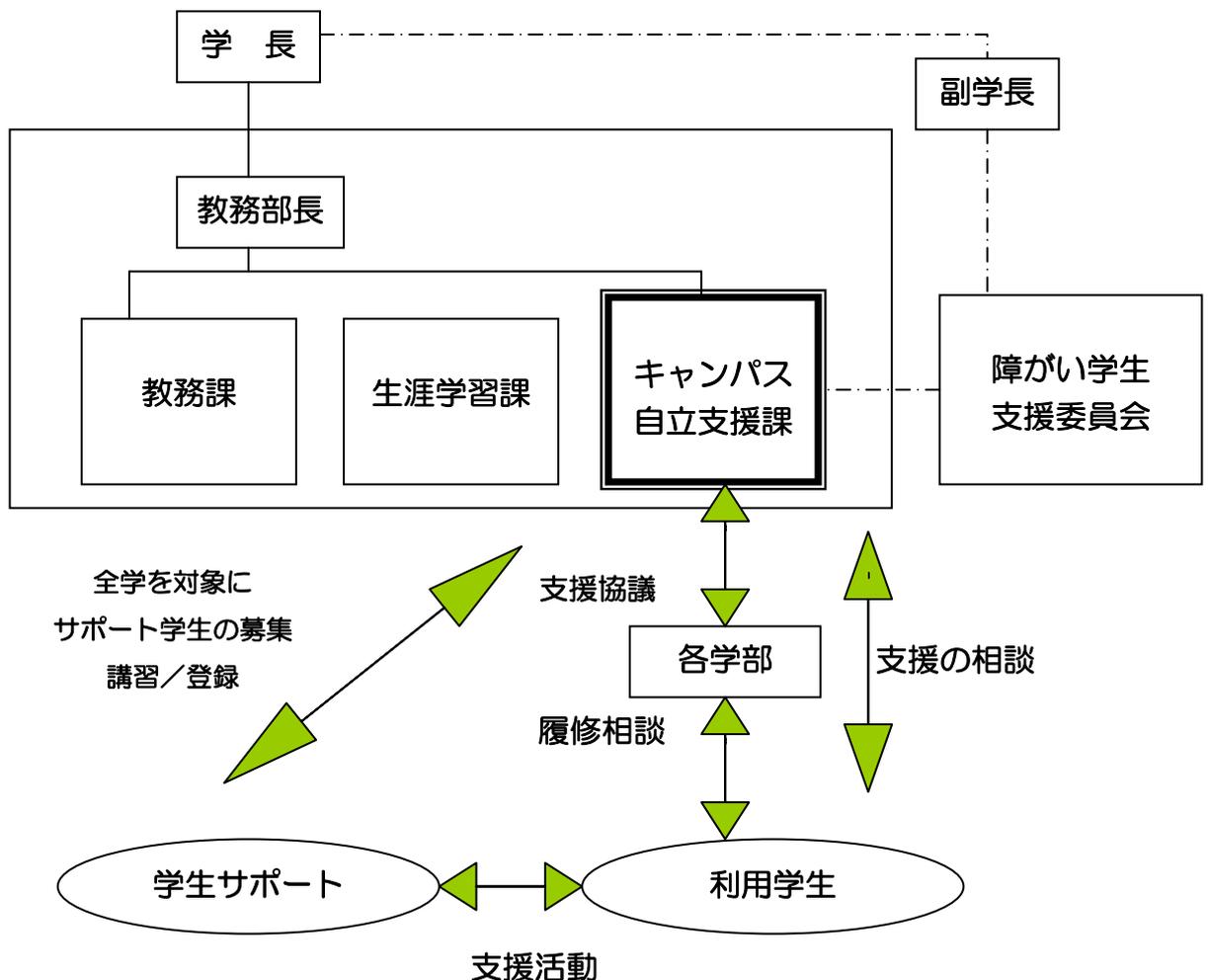
● キャンパス自立支援課について ●

キャンパス自立支援課は、本学に在学する障がいをもつ学生への修学支援を全学規模で行うことにより、質の高い支援を可能とするため、2006年4月に設置されました。

キャンパス自立支援課は、上ヶ原キャンパスと三田キャンパスに、それぞれコーディネータ1名を置き、各学部との連携のもとに1人1人の学生に必要な修学支援を考え、提供することを目指しています。それにともないバリアフリーに向けたキャンパスの整備を進め、教職員・学生に向けた理解や啓発活動、修学支援に参加するサポート学生の活動支援に取り組んでいます。

なお、本学には障がいをもつ学生の修学支援のあり方を協議するための場として、2006年4月に副学長を長とする全学組織の「障がい学生支援委員会」が設けられ大学としての修学支援の方針を検討しています。

<学内におけるサポート体制>

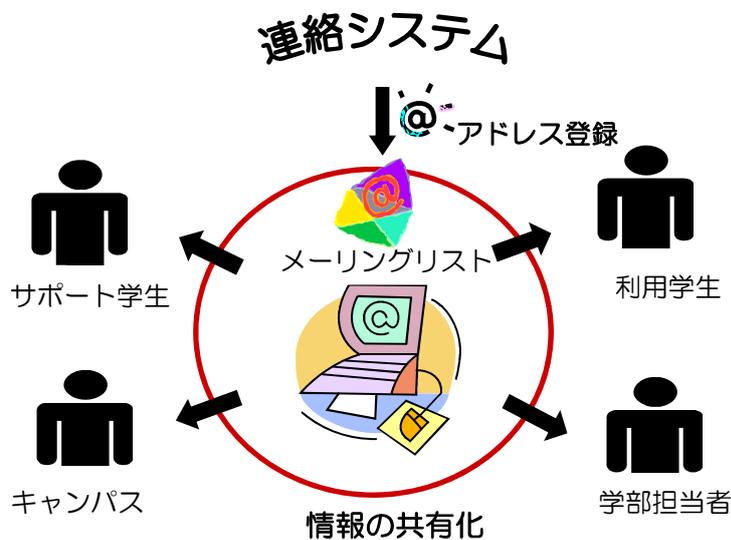


●運営・連絡体制●

サポート学生の募集は、キャンパス自立支援課が関学HP・ポスター掲示・ビラの配布等を通じて行います。応募される学生の方は説明会に参加したうえで（サポートの種類によっては定められた養成講座を受けた後）、サポート学生として登録・活動をしていただきます。

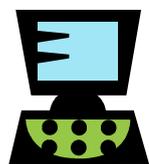
サポートにあたって業務上の連絡には、活動に必要な連絡や情報の交換をスムーズに行うため、メーリングリスト（ML）を用いています。サポート制度を利用する利用学生、サポート学生、キャンパス自立支援課スタッフ、学部の担当者がリストに参加しています。

メーリングリストの利点は、参加者同士がダイレクトにスピーディーなコミュニケーションをはかれることで、情報や知識が素早く共有できます。そのため、定期的にパソコンをチェックする習慣をつけるようにしてください。



メーリングリストはパソコン版と携帯版を用意しています。
※詳しくは各サポート別マニュアルの連絡システムをご覧ください。

パソコン版



キャンパス自立支援課からの基本的な連絡
情報交換
代役の募集

携帯版



急用、急病などの緊急時
遅刻、欠席などの連絡
急な作業の依頼の呼びかけと募集

急を要する連絡のみ

●サポートの種類●

あなたの ちから が必要です

《 聴覚障がい学生サポート 》



聴覚に障がいを持った方は、外見からはなかなか見分けが付きません。困っているところを見かけたらサポートしてください。緊急時のアナウンスなどが流れた時は是非伝えてください。

●サポート体制

- ・ノートテイク・PC ティカーによる授業サポート
- ・映像データの字幕付け
- ・支援器具の利用（電磁誘導ループ etc）
- ・講演会等手話通訳配置

《 視覚障がい学生サポート 》

健常者から見ると、思わぬところにキャンパスライフでの障害が潜んでいます。歩行の際に妨げになるような物（荷物等）は足元に置かないよう注意してください。

●サポート体制

- ・教材の点訳、拡大
- ・対面朗読、カセットへの吹き込み
- ・支援器具の利用（拡大読書機、読み上げソフト+PC etc）
- ・ガイドヘルプ



《 肢体障がい学生サポート 》



1人で移動できる場合でも、エレベーター・教室の扉の開閉が難しいので、サポートをお願いします。廊下や教室内の車イス用の座席の回りには荷物を置かないよう気をつけてください。

●サポート体制

- ・授業教室に関する調整
- ・学内生活介助
- ・ポイントテイク（筆記に時間を要する場合のノート作成者の派遣）

《 発達障がい学生のサポート 》

実験や実習の内容に応じ、パートナーとしてサポートしてください。

●サポート体制

- ・本人及び保護者との相談
- ・授業担当教員との相談・連携
- ・学部・関係部署との相談・連携
- ・実験実習サポート

●報酬料金表●

支援業務	時給(学生の受領額)	運用上の取り扱い
ノートテイク / パソコンテイク	1,000円 / 1時間 (1コマ: 1,500円)	1. 授業の場合は、1コマ(1.5時間)単位で支給します。 2. キャンセルや休講のあった場合には、1コマの半額を支給しません(詳細は実施要領を参照)。 3. 授業以外の場合は、実務時間に対して0.5時間単位で支給。ただし、15分未満は切捨て、15分以上は切り上げます。
実験実習サポート		
点訳	820円 / 1時間	実務時間に対して0.5時間単位で支給。ただし、15分未満は切捨て、15分以上は切り上げる。
対面朗読(テープ録音含む)		
指定する講習会等受講		
テープ/ビデオ 文字おこし		
映像データの字幕付け		

●交通費について

1. 交通費は原則として支給しません。
2. ただし、特例や夏期あるいは冬期休暇中等の通学期間外に業務を依頼した場合については、交通費を実費支給します(要申請/詳しくは各サポートマニュアルでご確認ください)。

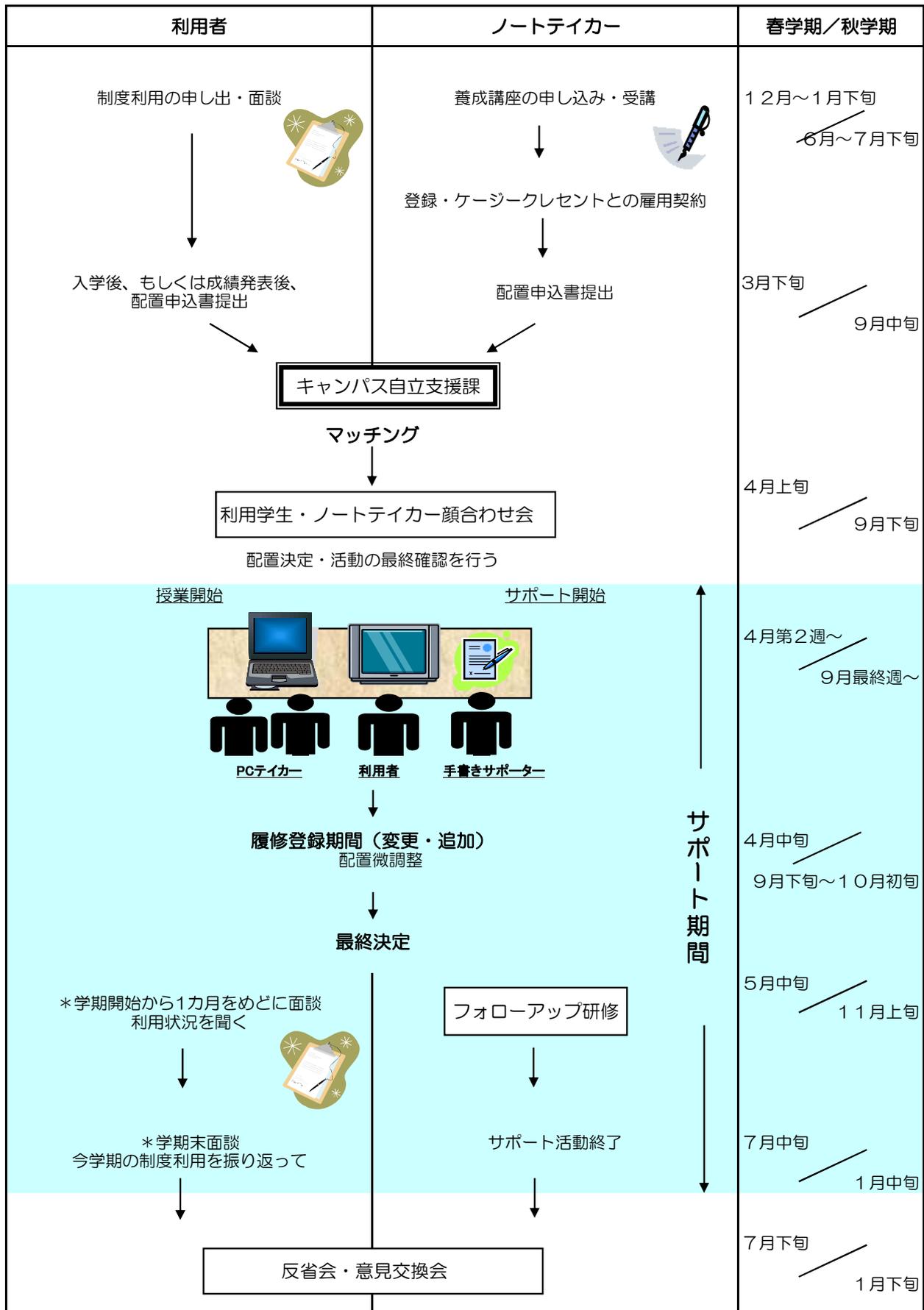
●サポート学生雇用契約および報酬支払い

学校法人 関西学院大学との契約により、学生アルバイトの事務業務委託を受け、アルバイト学生の雇用、賃金支払い等を株式会社ケーシークレセントが致します。サポート学生はこのケーシークレセントと雇用契約を結ぶこととなります。アルバイト勤務にあたって、事前に別紙の「学生バイト申込書兼扶養控除等申告書」を提出していただきます。申込書に記入・捺印の上、学生証のコピーを添えてケーシークレセント(KSCの学生の場合は教務部キャンパス自立支援課)へ提出して下さい。尚、お給料の支払いについては、皆様が実際に勤務されたアルバイトの作業について、勤務表に記入して提出して下さい。その報告書の月初から月末までに提出されたものを集計し、原則翌月10日に、先に登録いただいた銀行口座へ振り込み致します。

●各種障がいサポート●

- NT・PC テイクサポートの流れ
- 字幕付け作業の流れ
- 対面朗読
- 点訳作業の流れ

●ノートテイクサポートの流れ●



●字幕付け作業の流れ●

- サポート学生として登録・ケーシックレセントとの雇用契約
- 字幕付け講習会の申し込み・受講
- 1週間単位で作業に入れる配置表を提出
- 作業依頼ははメールシステムで連絡

■ 1 先生から映像データの字幕付け申請

- 先生からのオリジナルデータ



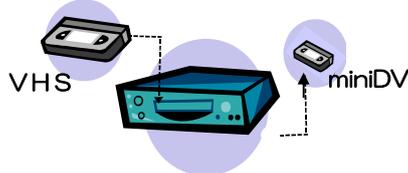
VHS等(アナログデータ)

or



DVD(デジタルデータ)

■ 1-a データのコピー



■ 2 プロジェクトファイルを作成

■ 2-a プロジェクトファイルへキャプ (キャプチャしながら文字起こし)



映像編集ソフト使用
EDIUS Pro4.5

■ 4 文字起こしテキストを校正

■ 5 字幕付け作業

■ 3 文字起こし

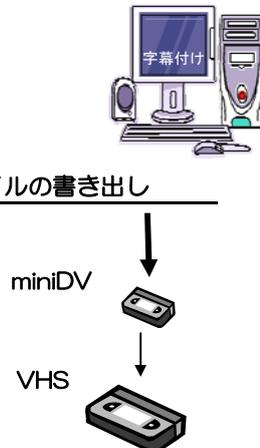


文字起こし・音声認識ソフト使用
(ドラゴンスピーチ)

- ・ 約20文字
- ・ 句読点の置き換え



■ 6 ファイルの書き出し



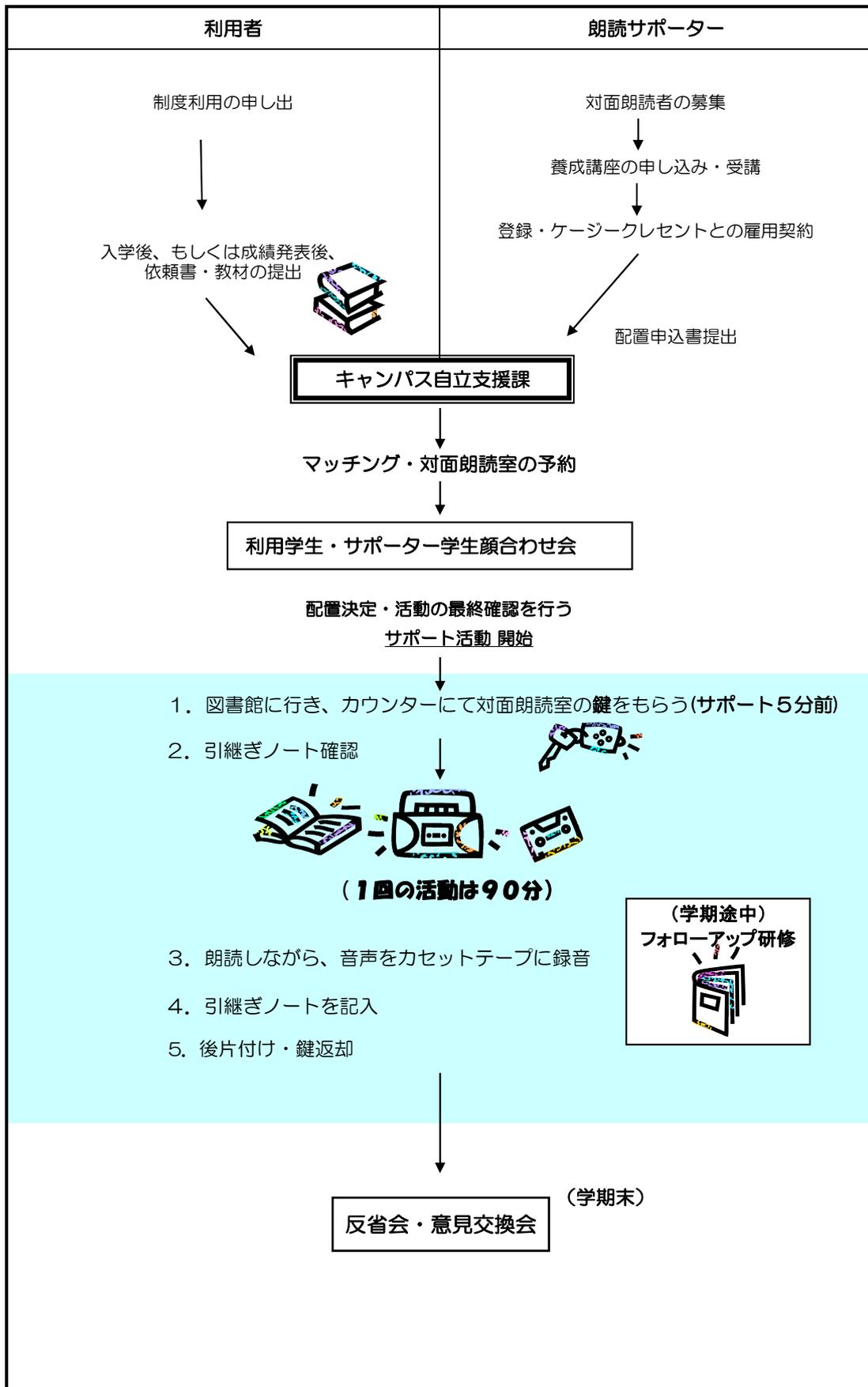
デジタルデータの場合
(ここでプロジェクトファイル作成)

mpegに出力



- 完成品…授業担当教員にオリジナル映像と共に納品・返却用紙を添えて渡す

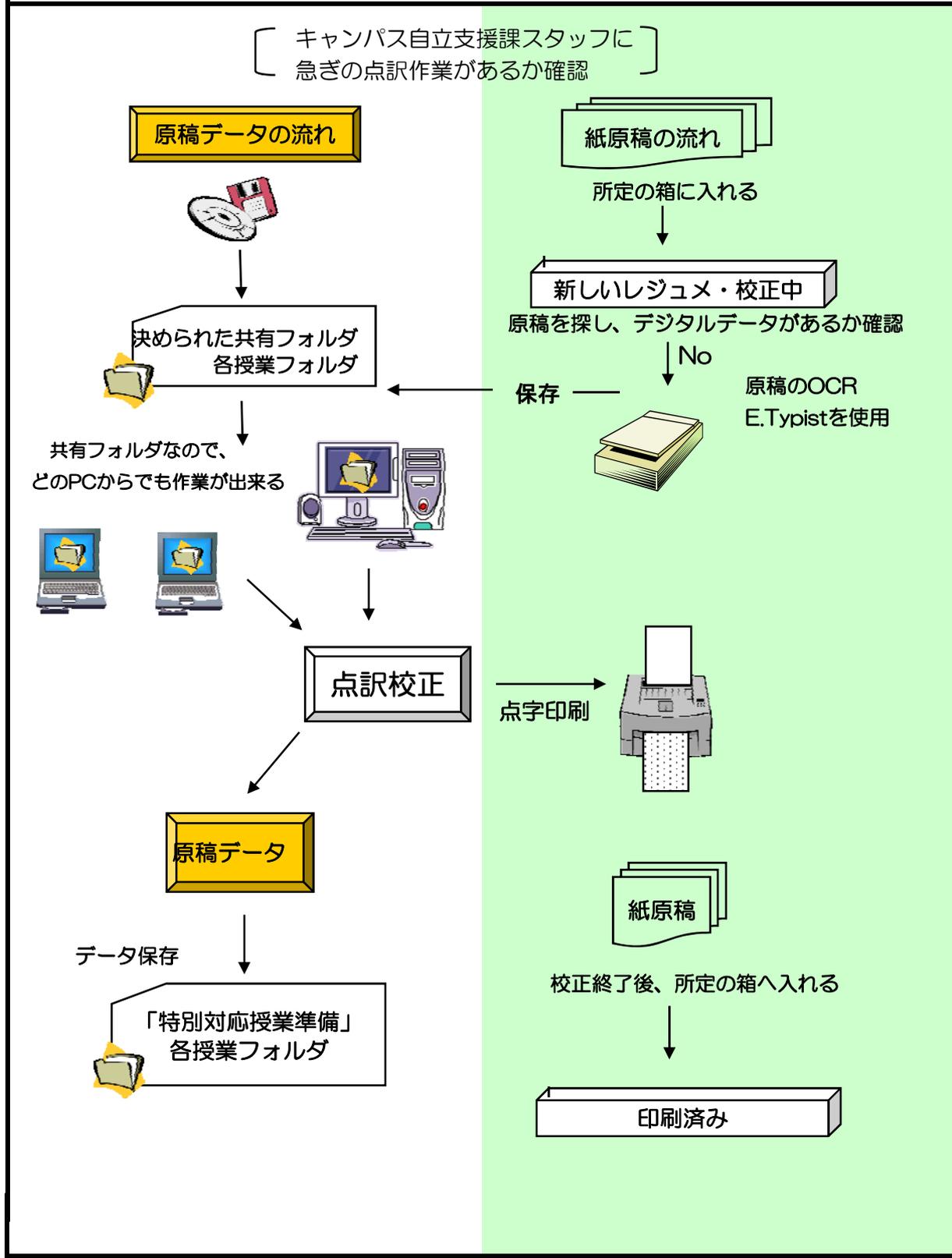
●対面朗読サポートの流れ●



●点訳作業の流れ●

- サポート学生として登録・ケーシックレセントとの雇用契約
- 点訳講習会の申し込み・受講
- 1週間単位で作業に入れる配置表を提出
- 作業依頼はメールシステムで連絡

〔 キャンパス自立支援課スタッフに
急ぎの点訳作業があるか確認 〕





●関西学院大学の取り組み●

『関西学院大学教務部キャンパス自立支援課では、本学における障がい学生支援の充実を図ると共に、高等教育機関における障がい学生支援を全国的な広がりにしていくため、他大学・他機関との連携を図っています。』

関西学院大学は、 独立行政法人
日本学生支援機構 の
JASSO Japan Student Services Organization

「障害学生修学支援ネットワーク」の拠点校です。

「障害学生修学支援ネットワーク」とは、全国の大学や関係機関がネットワークを作り、一丸となって大学等の障害学生修学支援制度の整備を目指すものです。全国を11の地域ブロックに区分し、各地域ブロックに先進的な取り組みを行っている大学などを「拠点校」として、大学等の教職員に対して障害学生の修学支援に関する相談に応じ、該当地域の障害学生修学支援体制の整備や、取り組みの共有化を図ります。

HP：http://www.jasso.go.jp/tokubetsu_shien/shien_jigyou/gaiyou.html

関西学院大学は、PEPNet-Japan の連携大学として、各種研修会・シンポジウムに参加をし、情報発信・収集をし、聴覚障害支援の現状の把握と今後の課題について、取り組んでいます。

PEPNet-Japan とは日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク（2004年筑波技術大学の呼びかけにより結成されたネットワークの略称）で、多くの聴覚障害学生を受け入れ、積極的な支援を行ってきた連携大学・機関の代表者を中心とした運営委員会によって運営されています。

HP：<http://www.tsukuba-tech.ac.jp/ce/xoops/>



●年間スケジュール●

- 1月 春学期に向けてのサポート制度説明会・講習会
- 3月 ノートテイカー養成講座
字幕付け講習会
点訳講習会
対面朗読講習会

春学期

- 4月 利用学生・サポート学生 顔合わせ会
- 5月 フォローアップ研修
NT・字幕付け・点訳講習会・対面朗読
- 7月 春学期サポート学生反省会・交流会

- 7月 秋学期に向けてのサポート制度説明会・講習会
- 9月 ノートテイカー養成講座
字幕付け講習会
点訳講習会
対面朗読講習会

秋学期

- 9月 利用学生・サポート学生 顔合わせ会
- 11月 フォローアップ研修
NT・字幕付け・点訳講習会・対面朗読
- 1月 秋学期サポート学生反省会・交流会